

骨や神経状態を把握

おくちの相談室

【問い】 歯科医院で同じ場所を何度もエックス線撮影されるのですが、エックス線写真は撮らないといけないのですか？ 被ばくのことにも気になります。(島原市、67歳男性)

【答え】 歯科の疾患はむし歯や歯周病など、歯本体や顎の骨に生じます。むし歯は、かみ合わせの溝の中や隣の歯との間(隣接面)で発生しやすく、歯

周病は歯肉の中で進行するため、直接見ただけでは病気の発見が難しいことが少なくありません。これらの歯や骨の状態を診ることができなのが、エックス線写真です。治療を始める前や、治療途中の病気の状態を把握する上で必要な時に撮影を行います。

とりわけ、歯の神経(歯髄)の治療を行う場合は根の先端部まで確実な処置を行うために、複数回の撮影が必要な場合があります。最近では病巣の3次元的な状態を把握するために、歯科用のコンピュータ断層撮影装置(CT)

(の活用も進んでいます。また、治療後の経過を追うために一定の期間を空けてエックス線写真撮影を行うこともあります。しかし、ご指摘のように放射

線を使って診断するため、被ばくについてはよく質問を受けます。機種や撮影する部位にもよりますが、歯科医院での撮影によって人体が受ける放射線の影響の大きさは、数歯が写る「デンタルエックス線写真」で0.01ミリシーベルト以下。顎全体が写る「パノラマエックス線写真」で0.03ミリシーベルト以下です。

100ミリシーベルトを超えると体への影響が懸念されるといわれています。日本で1年間に1人が受ける自然放射線量は約1.5ミリシーベルトとされ、これと比較すると、エックス線写真による影響は小さいといえるでしょう。最近では、高感度のフィルムやデジタル型の撮影装置を使うことで線量の減少にも努めていますし、防護エプロンや、エックス線の拡散を絞る装置により、撮影と関係のない場所が影響を受けないよう配慮していますので、安心して処置を受けてください。

歯科医院では、撮影による放射線被ばくと、撮影を避けた場合の病気の見逃しといったリスクとを比較しながら、撮影の必要性を判断しています。不安なことがあれば、かかりつけの歯科医に相談してください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8901、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

歯のエックス線写真

回答者

宮崎 宏樹

島原市湖南町
みやざき歯科歯科医師

